



今も昔も変わらないものが ここにはある！  
**自然の森M.G.ユースホステル**

広島県の備後(びんご)地域、府中市上下(じょうげ)町に位置するユースホステル。JR福塩線・備後矢野駅から徒歩約30分。広島バスセンター(広島市)から高速バス「ピースライナー」甲奴(こうぬ)行きに乗り約2時間、矢野温泉停留所から徒歩3分。車の場合は、尾道自動車道・世羅ICまたは甲奴ICから20分ほど。当面、全曜日～日曜日のみ営業。



〒729-3423 広島県府中市上下町矢野 407-1  
☎0847-62-3244 <http://www.mgyh.jogemanmaruya.com/>

*Youth Hostel Pick up*

**人を慕い、人が集い、歴史を紡ぐ  
平和への思いが生んだユースホステル**

**自然の森M.G.ユースホステル**

**天領・上下町の丘に佇む  
緑あふれるユースホステル**

広島県東部、旧・備後国のほぼ中心にある府中市上下町。江戸幕府の天領(直轄地)とされたこの街は、わが国最大の銀山として栄えた石見銀山(島根県大田市)と深い関わりがある。そこで産出された銀は「銀山街道」あるいは「銀の道」と呼ばれるいくつかのルートを経て京都や大阪に運ばれた。そのひとつ、笠岡(岡山県笠岡市)を経る街道の宿駅が、上下の街であった。幕末に至るまで石見銀山大森代官所の支庁「出張陣屋(でばりじんや)」が置かれるなど、銀を集積・中継する拠点として発展。とりわけ金融業が興隆した。

近代にかけては、白壁や「なまこ壁」の重厚な建物、緻密な装飾

を施した洋風建築が数多く生まれた。これらは現在に至るまでよく保存されており、伝統と格式を感じる街並みが広がっている。

そんな上下町市街地の南側、矢野地区の森に囲まれた小高い丘に佇むのが、今回訪れた「自然の森M.G.ユースホステル」だ。白い外壁に出窓、三角屋根。おとぎ話の世界に舞い込んだような愛らしい建物が目を引く。迎えてくださったのは、マネージャーの和知啓子(わち・けいこ)さん。地元・上下町で生まれ育ち、自らが青春時代を過ごしたこの宿を、先代の故・森岡まさ子さんから引き継いで運営している。今回は、広島県初の民営ユースホステルとして1959年に開館以来、全国から訪れる旅人たちとともに紡がれてきた歴史と、森岡さんからの「バトン」を次代へ渡そうと奮闘する、和知さんの思いにクローズアップする。

**「来る人を子どもと思い育てる」  
原爆症を乗り越えた先代の信念**

和知さんが「森岡ママ」と慕う森岡まさ子さんは、1910年に上下町で生まれ、新聞記者だった夫・敏之さんと結婚した。1945年、敏之さんは広島市への原子爆弾投下で被ばく。多量の放射線を浴びたことによる原爆症に苦しんだ。戦後、治療に好適と聞きつけて、温泉が湧出する矢野地区へ夫婦で転居。体調を取り戻した敏之さんは全国を旅した。

「旅から帰ってきて『ユースホステルがすごく良かった。自分もやりたい』と言いついたそうです。昔パパがついていた雑誌名から『モダンガイド(M.G.)』という名前をつけましたが、初めはとてもモダンとは呼べない四畳半の部屋。それでも、パパを慕っ



カントリースタイルのインテリアでそるえられた二階のお部屋「風の雅」。お部屋には「風の音」「鳥の声」など、のんびりとした山の風景を思わせる名前がつけられている。



広島県初の民営ユースホステルだった「自然の森M.G.ユースホステル」。伝説のペアレントといわれた森岡ママこと森岡まさ子さんの笑顔は、今も優しい。



照れながら森岡ママと同じポーズをとってくれたマネージャーの和知啓子さん。並外れた行動力と優しい人柄に、在りし日の森岡ママの面影を重ねるリピーターも多い。

て全国から若者が訪れました(和知さん)  
原爆の被害に遭ったにもかかわらず「アメリカ人がすべて悪いんじゃない。戦争が悪い。許し合うことが平和につながる」と語っていたという敏之さん。ユースホステルに来る人を、自分の子どもと思って育てると心に決め「世界は広い。世界を見る」と、若者たちにまっすぐな思いを伝え続けた。敏之さんが亡くなると、その遺志を引き継いだまさ子さんが、ユースホステルを切り盛りするようになった。「ママはアイデアにあふれた人で『お金がなければ知恵を出せ』と野草を天ぷらにしたり、いろいろないイベントを考えたり…。人を惹きつけることにかけては天才でしたね」そう懐かしむ和知さんが初めて宿を訪れたのは、高校時代のことだった。

## 青春を過ごしたユースホステル 思い出の場所を残すため、継承を決意

近所の住民に連れられてユースホステルを訪れた和知さんは、カルチャーショックを受けたという。

「親が厳しかったので、それまで旅をした経験は皆無。ユースホステルに来て、滞在している人たちの旅の話聞くのはとても新鮮でした。『お遍路のように歩いて四国を一周した』『野宿をしていたら、地元の人が自宅に招き入れてくれた』なんて、皆さんの旅を疑似体験できるのが楽しかったですね」

地元の病院に医療秘書として就職し、結婚・出産を経てもユースホステルに通い、まさ子さんと家族ぐるみの付き合いが続いた。転機となったのは2004年。高齢のまさ子さんに代わって宿を営業していた民間企業が運営から撤退し、休館を余儀なくされていた。

「企業が運営していた頃は雰囲気が変わってしまって、昔からのお客さんの足が遠のいていました。私の大切な思い出が残っているユースホステルを、なんとか以前のような宿に戻したいと思いました」

しかし和知さんは、宿の運営については素人。本当に自分が引き継げるのかという不安がよぎったが、最後はまさ子さんが背中を押してくれた。

「『できるかできないかじゃない。やるかやらんかだぞ』と言われて、ママに昔『神様がチャンスくれたら、私が宿をやりたい』と言ったことを思い出しました。私は、この場所を残したい。覚悟を決める時が来たんだなと思いました」



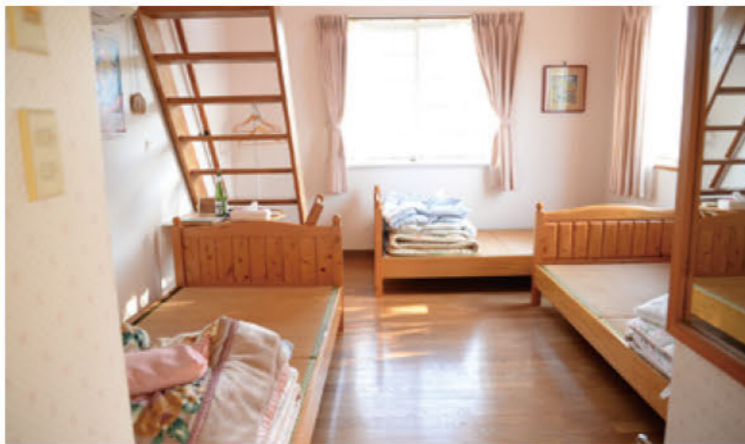
ある日の夕食を、自然の森M.G.ユースホステルのファン、通称「MGっ子」が撮影してくれた。土鍋ご飯と、地元の食材を活かしたどこか懐かしい逸品の数々が、団欒のひとつに彩りを添えてくれる。



かつては湯治場として栄えた上下町。自慢のお風呂は、地元の名湯矢野温泉を引き込んだ天然温泉。



小さなお子さま連れでものんびりとくつろげる談話室。「訪れた人誰もが家族のように過ごせる場所」が、森岡夫妻の理想のユースホステルだったのかもしれない。



高い天井が開放的な3名用のお部屋「山の想」。畳ベッドは外国人旅行者にも大好評なのだとか！

## 何もせず、自分の時間を過ごせる 集う人と共にある安らぎの宿を、次代へ

初めはわからないことだらけだったユースホステルの運営。戻ってきてくれた全国のお客さまに支えられ、20年を迎える。

「『人が集うのは、人に会いに来るから。人が街をつくるし、歴史をつくる』というママの言葉を大切にしています。ママがあまりにも有名だったから、最初は不安も多かったんですが、私は、私に会いに来てくれる人たちと一緒に歴史を積み上げていこう。そんな思いで宿を続けてきました」

洋室には一段ベッドがゆったりと置かれ、広々とした和室やロフト付きの客室も備えた自然の森 M.G.ユースホステル。天然温泉「矢野温泉」が注ぐお風呂もこの宿ならではの。料理は、季節の野菜など、地元の食材を中心としたメニュー。特に、ホテル舞う上下町の清らかな水で育ったお米は逸品で、土鍋で炊いたほかほかのご飯を堪能できる。

「ここに来れば、何もなくていい。自分の時間をゆったり過ごしていただけます。朝は鳥の鳴き声で目が覚めて、夜は陽が落ちる様をただ眺めて。でも、そこには人の気配があって、話したかったら話すこともできる。こういう場所って、あるようでなかなかないと思います」

そんな安らぎのユースホステルを、次代へ引き継ぎたいと話す和知さん。すでに手を挙げてくれている若者がいるという。「このユースホステルは、お互いを応援し合いながら自分を磨くのに最高の場所。運営する側も幸せを感じられるような宿を、バトンリレーのようにつなげていけたらと思います」

### A うどん そば カフェ 樽ちゃん



手づくりのダシが決め手の「樽ちゃんうどん」、地元のお米で握る「おむすび」が人気。温かな雰囲気店内では、手芸品や地域の食材を使った漬物・佃煮も販売している。

府中市上下町矢野588-1  
☎0847-62-4607

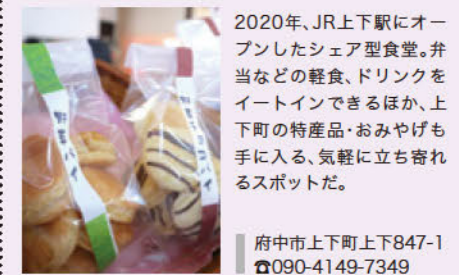
### B 上下画廊



煉瓦の外壁が特徴的な、アンティーク雑貨と喫茶のお店。ランプやひな人形のほか、所狭しと並ぶ骨董品の数々は、まさに圧巻だ。カレーやケーキ、コーヒーで一息ついてみては。

府中市上下町上下1017  
☎0847-62-4822

### C まちの駅 上下まんまる屋



2020年、JR上下駅にオープンしたシェア型食堂。弁当などの軽食、ドリンクをイートインできるほか、上下町の特産品・おみやげも手に入る、気軽に立ち寄れるスポットだ。

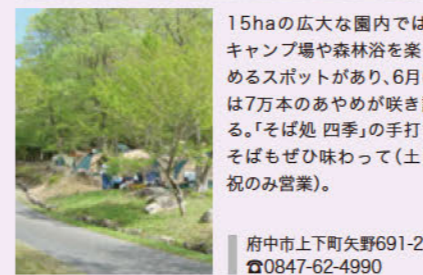
府中市上下町上下847-1  
☎090-4149-7349



「府中市上下町ってこんなところ！」  
旧甲奴(こうぬ)郡に属していた上下町は、2004年の合併で府中市の一部となった。諸説あるが、上下の名は町内に分水嶺があることから付いたとされる。町の北側にある流れは江の川(さうのかわ)となって日本海に注ぎ、南側のそれは芦田川(あしだがわ)と出会い、瀬戸内海へ流れる。こうして「上下」(南北)に水が分かれることが由来という。このページでは、自然の森M.G.ユースホステルからアクセスしやすい、町内の食や文化、自然を体感できるスポットを紹介する。

## 府中市上下町おすすめSPOT

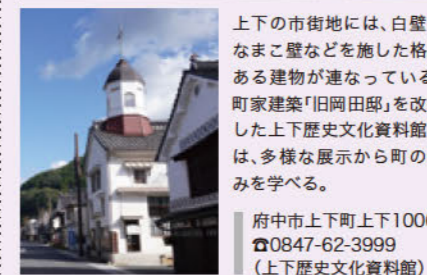
### D 矢野温泉公園 四季の里



15haの広大な園内では、キャンプ場や森林浴を楽しむスポットがあり、6月には7万本のあやめが咲き誇る。「そば処 四季」の手打ちそばもぜひ味わって(土日祝のみ営業)。

府中市上下町矢野691-2  
☎0847-62-4990

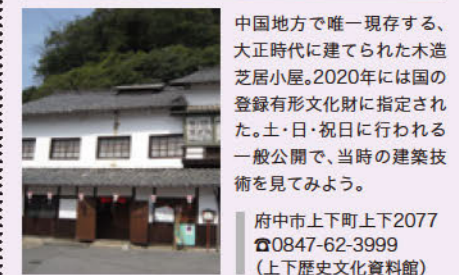
### E 天領上下 白壁の町並み



上下の市街地には、白壁やなまこ壁などを施した格調ある建物が連なっている。町家建築「旧岡田邸」を改装した上下歴史文化資料館では、多様な展示から町の歩みを学べる。

府中市上下町上下1006  
☎0847-62-3999  
(上下歴史文化資料館)

### F 翁座(おきなざ)



中国地方で唯一現存する、大正時代に建てられた木造芝居小屋。2020年には国の登録有形文化財に指定された。土・日・祝日に行われる一般公開で、当時の建築技術を見てみよう。

府中市上下町上下2077  
☎0847-62-3999  
(上下歴史文化資料館)



抽選で **ペア宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmQ>

応募締め切: 2025年4月末日

※当選者にはこの応募前に登録いただいたメールアドレスにご連絡いたします。  
@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。



# Hostelling Magazine vol.40



**Cover Interview**  
奥田いろは(乃木坂46)  
一瞬の美しさを残して、  
消えてしまうものだから

P.02



**Youth Hostel Pick up**  
自然の森  
M.G.ユースホステル  
人を慕い、人が集い、歴史を訪ぐ  
平和への思いが生んだユースホステル

P.08



**Hostelling Magazine  
× 地球の歩き方**  
ベルリンの壁崩壊から35年  
ベルリンの今を歩く

P.12



**鉄道写真家 櫻井 寛**  
「列車で行こう!」

P.16



**松島むうの**  
晴れときどき旅びより

P.18



**YH-GUIDE**  
ユースホステルガイド  
和歌山県 / 岡山県 / 広島県  
山口県 / 徳島県 / 香川県  
愛媛県 / 高知県 / 佐賀県  
熊本県 / 大分県 / 宮崎県  
鹿児島県 / 沖縄県

P.20



**Hostelling Magazine vol.40**  
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2025年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。